

令和 8 年 8 月 吉日

各位

新潟大学 森 貴教

新潟県長岡市 椿沢古墳発掘調査のご案内

拝啓

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。平素より本学における教育・研究活動に深い御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新潟大学の教員および学生を中心に組織しております島崎川流域遺跡調査団（代表・森）では、2019 年度から長岡市上桐地区に所在する弥生時代の遺跡の調査・研究に取り組んでいます。2024 年度に、山林・竹林中の上桐字椿沢地内で盛土状の地形が新たに確認され、昨年 9 月下旬に測量および発掘調査をおこないました。その結果、土師器とよばれる古墳時代の土器片のほか、地面を削って形を整えた跡や土を盛った構造、さらに他の場所から運ばれた礫が確認され、人の手によって築かれたものであることが明らかになりました。

これらの成果から、本地点は「椿沢古墳」として新たな埋蔵文化財に認定されました。新潟県内の古墳の中では比較的規模が大きく、全長約 38 m の前方後方墳または前方後円墳である可能性が考えられます。

今年度は、椿沢古墳の墳形（古墳の形状）および築造年代をより正確に推定するとともに、周辺における地形変化の内容を解明することを主な目的として、発掘調査をおこないたいと思います。時節柄、お忙しいことと存じますが、御来跡の上、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調査地 椿沢古墳（新潟県長岡市上桐字椿沢） 第 2 次発掘調査
2. 調査目的 島崎川流域における弥生時代集落遺跡の性格、大規模な環壕をともなう「高地性集落」である赤坂遺跡の廃絶後（古墳時代以降）の土地利用解明
3. 調査内容 トレンチ発掘調査（計 3 箇所を予定）
4. 調査主体 島崎川流域遺跡調査団
5. 調査組織 担当者：新潟大学人文学部・准教授 森 貴教
調査員：新潟大学人文学部・助教（研究統括機構 兼務）太田凌嘉
新潟大学大学院現代社会研究科・大学院生、人文学部 学生 計 15 名ほか
（令和 8 年度授業科目「考古学実習 C・D」の一環）
6. 調査期間 2026（令和 8）年 9 月 15 日（火）～9 月 28 日（月）（予定）
7. 連絡先 新潟大学五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A405
〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050

TEL : 025-262-6457 (森研究室)、E-mail : tmori@human.niigata-u.ac.jp

8. 調査時連絡先 070-4451-5837 (森携帯電話)

*調査日程は、作業工程や人員配置等の都合により、急遽変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。調査地は地権者の許可を得て立ち入っている私有地で、分りにくい山中にあるため、安全管理および調査作業の都合上、現場へお越しの際は事前にご連絡くださいますようお願いいたします。

以上

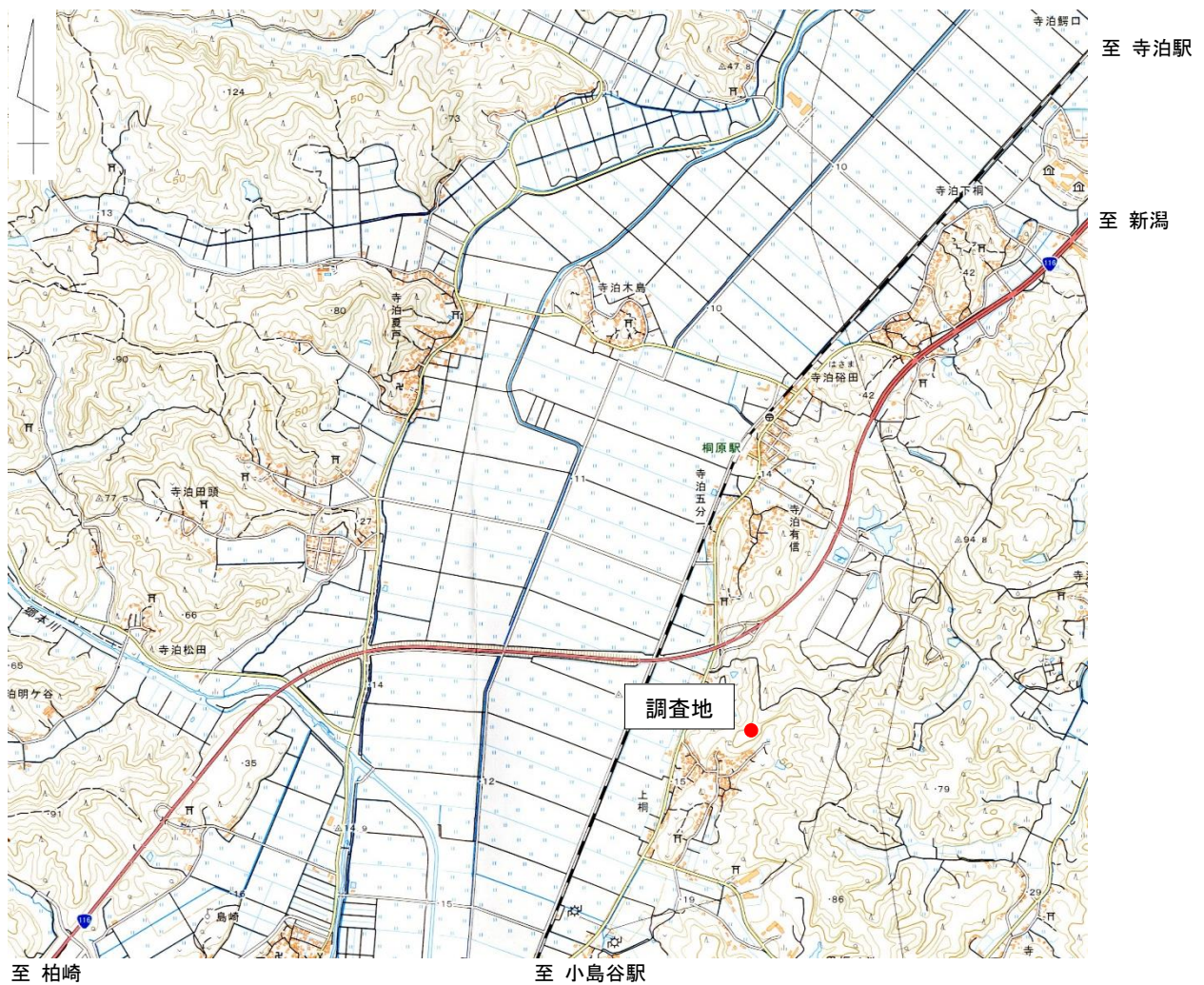


図1 調査地周辺の地図 (国土地理院発行2万5千分の1地形図〔寺泊〕を利用)